

SAH×勉強 3年「STUDY CLUB+」発足！

「地方国公立より上の大学を目指したい！」「一生懸命勉強する集団に身を置きたい！」という生徒。「力のある生徒を、それに相当する大学に行かせてあげたい」という先生。両者の思いが合致した STUDY CLUB+が3年で発足。33名が集う。4/30(木)6限には進路指導主事から、3年生全員に、「ここ2年の大学受験状況の分析と受験に勝つ戦略・考え方」等が伝えられた。前南生からの要望も待つ！

大学受験は長い戦い、結局は自分自身の頑張りが勝負の大半を占めるが、どうアプローチをかけるか、どう自身をコントロールするか、などセルフマネジメントが大事になってくる。できるだけ無駄なく効率的に自走できるよう、また「落ちる行動・考え方」に陥らないよう、「定石」を提供していく。それに加え、「どう攻めるか、どう考えるか」の勝つための戦略も、学校(進路)・学年から発信していきたい。後者は、力が一枚劣っていたとしても戦略でそれをカバーし逆転するもの。受験は情報戦。情報と戦略で勝つ。(編集 教頭)

STUDYCLUB+の様子



STUDY CLUB+「これから参加」も歓迎！

「難関大を目指したい、地方国公立より上の大学に行きたい、意識の高い集団で頑張りたいという思いはあるが、具体的に何をどのくらい頑張ればいいのかわからない」という思いを解消していきます。具体的には、ピンポイントのガイダンス(難関私大の傾向や攻め方、1年間のスケジュールの立て方)、面談、2次に向けた添削指導などをおこなっていきます。

進路指導主事ガイダンス

昨年度における受験の一番のトピックとして、「私大の超難化」が挙げられました。「全国的に、3,4年前と比べて、1.5~2ランク下しか受からないという感覚」「日東駒専と地方国公立の受かりやすさを比べた時、昨年度入試は地方国公立の方が受かりやすかった(日東駒専が難しくなった)」という具体的な例を紹介しながら、現3年生世代の受験も同じ傾向が続く、そういった現状を踏まえてどう攻めるべきかが話されました。

また、「模試の志望校の書き方(順番や「共テ模試と記述模試」の違い)」についても、なぜそう書くのかまで説明されました。